

3月30日  
受信了  
01.13  
02.15  
03.00

電 13940 - 1212  
作概0  
航本



緊急

● 小崗山司令部

● 宮古航空基地

（通報表示）第一航空艦隊司令部 殘留隊（香取基地）

機密第二九二一三七番電

發 岡本少佐  
宛 參謀

貴機密第二九一三二〇番電返

一 完備機隱匿ハ滑走路周邊掩體ニ依ルノ外ナシ（掩體數圖面報告通）

二 全島灌木ナルヲ以テ完全隱匿ハ谷間ヲ利用シアリ誘導ニ索引車ヲ使用

（一機誘導ニ約一時間ヲ要ス）

三 右狀況ヨリシテ夜間ノマ隱匿可能ト認ム詳細書類後送ス。

通一六〇三九 呂7Bケ五（三七八二五IC）五FGB放 相澤（森田）

三三〇 機始〇〇二二五 三三〇〇 三三〇〇 航本〇

3月30日  
受信 11.31  
歌始 18.50  
歌了 19.30

電 14649  
14650  
14651  
2412  
作概  
参本

通電先 臺灣軍 聯合艦隊 佐鎮  
参考 参謀本部 第五航空艦隊  
キウサンゼウ電第〇四七六號其ノ一、二、三  
「心トブ」半島守備隊ノ報告ニ依レバ  
「二十九日〇九三七」イシ「島」西南方約六軒ノ海上ニ於テ敵〇二隻撃  
沈 一雙ハ「島」上ゲ西方ニ去ル  
通電先 臺灣軍 聯合艦隊 佐鎮  
参考 参謀本部 第五航空艦隊  
キウサンゼウ電第〇四七六號其ノ一、二、三  
「心トブ」半島守備隊ノ報告ニ依レバ  
「二十九日〇九三七」イシ「島」西南方約六軒ノ海上ニ於テ敵〇二隻撃  
沈 一雙ハ「島」上ゲ西方ニ去ル



聯合艦隊  
第五航空艦隊

二九三三三〇

佐

通

三三〇  
受信 一八三〇  
了 一九三〇

電電  
四四六六  
六六五五  
一〇九

作  
本概

三 一 一 〇 〇 「殘波岬」二〇軒沖 A 一隻 B 一隻轟沈スルヲ望見ス  
 三 一 一 三 五 「殘波岬」沖二〇軒 D 五隻炎上其ノ周邊ニアリタル其ノ他ノ  
 諸艦船ハ西方ニ退避ス  
 四計 A 一 B 一 C 二 轟沈 C 一 黒煙 D 五 炎上。

三 三 〇 受信 〇〇二二〇〇 開始 〇四三〇〇 終了 〇五四〇 電一四〇四八 作 務

至 急

● 松 山 航 空 基 地



● 七 一 機 動 基 地 航 空 部 隊 戰 闘 概 報 着 信 監 所  
 七 基 地 航 空 部 隊 戰 闘 概 報 着 信 監 所

機密第二九二三〇〇番電 二分ノ二

〇七三〇地點「ヒラミス」B 一 二九 一機ヲ發見 交 戦 セズ 晝 間  
 第二段 彩雲二機「二五〇發進」松山基點一五〇度及一七五度一八〇  
 度外折ニ〇涅敵ヲ見ヌ

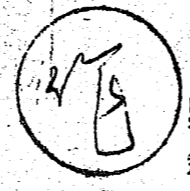
三 明日ノ使用可能機紫電改三六機 彩雲四機  
 (電信課註 本電二分ノ一既配布)

通一六〇九五 呂一Bケ五( B ) 木更津 坂本(金 森)

3月30日  
受信 01.20  
誤始 01.35  
誤了 01.48

電 14009  
作 概 0  
2175

作戰緊急



第三、五各航空艦隊  
東京通信隊  
佐鎮・沖繩根

沖繩方面根

機密第二九二三二六番電

一、敵ハ末ダ沖繩本島ニ上陸シ居ラメ

二、晝間西海岸ニ在リテ各飛行場一帯ヲ砲撃中ナリシ戰艦七 巡洋艦九

ヲ基幹トスル敵艦艇ハ一七〇〇北西方ニ避退ニ〇渾園内ニアリト判

斷セララル。 二三二六

通一六〇五二 於十四 ( B ) 佐世保

山本 (小 野 田)

三三〇

開始〇〇五〇

調子〇一三〇

電二三九九〇

航作本〇

作機特別要



● 松山、藤枝、筑城各航空基地  
守 佐 航 空 隊

● 鹿屋 統 空 基 地

● 關東第八丈島派遺隊。第一機動基地航空部隊

機密第二九二二三二八番電

七五〇B電令作第二一一號

二十九日二二五〇「ル夕三ツ」於予敵大部隊ヲ捕捉セリ明朝左ニ依  
リ作戰スル

一 制空部隊明朝黎明敵機ヲ攔撃シ西方ニ誘致せ給

二 松山基地所在六〇一部隊ハ敵ノ東方ヨリ接近シ敵空母ニ對シ特攻攻

撃ヲ執行セリ。

三 六〇四一 於十四日三九九三七(四)一三〇〇B電

3月30日  
受信 02.20  
談始 04.05  
談了 05.05

電 13976  
作概0  
航本

通一六〇七七  
呂一〇ヶ五  
三九三七  
一五七七放

宮崎(船狩)

七〇GB電令作第二一二號  
二十九日二二五〇地點「ルタ三ツ」ニ於テ敵部隊ヲ捕捉セリ一三一及  
二五二部隊ハ攻堅準備ヲ整ヘテ夫々明治基地(又ハ豐橋基地)及餘處  
基地ニ進出待機スル。

機密第二九二三五八番電



作戰緊急

- 明治、香取各航空基地
- 關東空八丈島派遣隊・第一機動基地航空部隊

● 百里原航空基地

三三〇

受信 〇〇二二二五  
談始 〇四〇五

一〇五〇五

一三九七六

航作本〇

三三九 開始 10:00 終了 11:00 電自 14657 至 14657 作 務 0

聯合艦隊 佐

第1 根據地隊第三二軍司令官

通電先 台灣軍 備

参考 參謀次長 誠赤 菊水

王參電第七九五號 其ノ一、三、四、五、六

一、敵上陸ノ機本明日ニ切迫シアルニ鑑 之ヲ 二十八日中ニ爲シ得ル限り多

クノ特攻兵力ヲ本島内ニ投入展開セラレ度具申ス

ニ理由

(一) 昨今ノ航空作戰ノ經過ニ兆スルニ其ノ成功ノ因ハ滑走路ヲ砲身ト

シ飛行機ヲ彈丸トナシテ隨時隨所目標ヲ選定シ空中勤務者敵情ヲ熟

知シツツ發進シ得

通電先 佐世保 (協作) 五二〇〇KG

廣田・岩佐 片山・高田・吉

(一) 田

2178

電自 14657 至 14657 作 務 0

17.06 10.20 12.00

3月 29日 受信 始了 30日 受取 誤

☐ 天候氣象ハ特ニ薄明時ニ於ケル現地ノ情況) 及敵戰團機ノ在否情況  
 況ヲ熟知シ得ルニアリ現練度ノ特攻ヲ以テスル夜間遠距離進攻ハ  
 至難ナルノミナテ晝間ニアリテハ敵戰團機奄美・徳島・宮古・  
 石垣ニ我が進行ヲ遮斷スル如ク哨戒スベキヲ以テ之亦困難ナリ  
 ③ 敵方北・中飛行場附近ニ上陸スルニ於テハ我々地上戦力上飛行場  
 確保並ニ使用妨害ハ永續セザルベク兵力ノ投入急速實現セザルニ  
 於テハ遂ニ基地戰團機ノ跳梁ヲ許スベキ結果トナリ特攻隊ヲ主隊  
 トシ敵ヲ海上ニ覆滅スベキ航空作戦ハ困難トナルベシ  
 薄暮ニ於ケル飛行場着陸ハ上且。

(東通註 本電誤字極メテ多シ)

三 二九 受信一七〇〇七 譯了二〇二〇 電二四二一九 作本〇  
 三〇 開始〇九〇〇七



聯合艦隊司令部

佐 通

二九一〇九〇〇

通電先 參謀次長 (防衛總司令部) 臺灣軍 第八飛行師團 第六航

空軍 西部軍 聯合艦隊 第五航空艦隊

キウサンゼウ電第四七二號其ノ六二

神風ハ吹キ二十九日八時敵未ダ上陸シアラス敵艦船群ハ二十八日夕刻  
 以來ノ陸海軍ノ攻撃ニ依リ大ナル損害ヲ蒙リ航空機活動極メテ低調ニ  
 シテ艦船ハ一般ニ視界外ニ退避セリ詳細後報。

通電一五七三二 協作 (日) 佐 通 (石垣) 三石 ( )



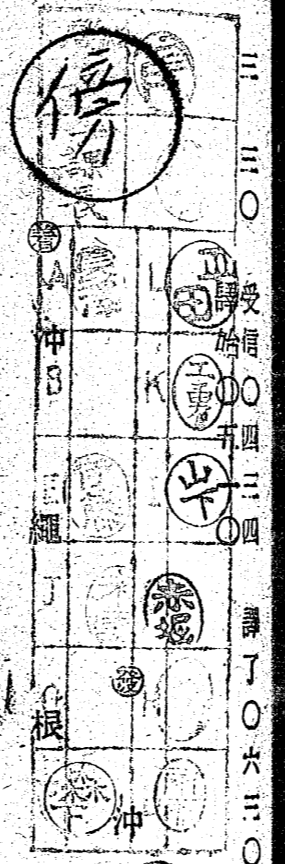
電報 No. 18  
電報 No. 20  
作概

3月30日  
受信了  
04.34  
05.10  
05.30  
受取

發司令官

天一精作我既ニ發動ヒラレ皇國防衛ノ大任ヲ有スル  
テ決然起メキノ秋ナリ夫レ元軍十萬モ恐ル所ナクヨク之ヲ西海ニ擊退  
シ時宗ノ膽忠烈千古楠氏ノ訓ヘニザル聖將ノ太信念コソシノハザルベク  
ンヤ竊敵今ニシテ擊タズンバ留ル所無カラシムニ皇國興廢ノ大任ハ等  
ノ双肩ニアリト言フハシ諸士良々各自ノ重責ヲ思ヒ盡忠更ニ訓練ヲ重  
ネ必勝ノ信念ニ徹シ眞摯自愛勇戰奮闘以テ皇恩ニ副ヒ奉ラレヨトヲ期  
ス。

通信果註 本紙ハ再配布前紙ト引換ラレ度  
通自一六二二五。至一六二二七 呂三三ケ六(日) 佐世保 廣田善佐(酒巻)



聯合艦隊口・一五二航空隊

機密第三〇〇一三七番電 三分ノ六二三

自電一四〇〇二〇八  
作概

3月30日  
受信  
誤了

05.30  
05.58  
06.10

電 14037 2182  
作概 0  
航本



● 鹿屋航空基地  
● 明治航空基地

作戰特別緊急

● 松山航空基地

機密第三〇〇三〇一番電

發 三四三空司令

宛 七FGB指揮官

七FGB電令作第二一一號關聯

在松山六〇一部隊ハ彗星二機ノミナルヲ以テ當隊ハ獨自ノ行動ヲ執  
ル四國海岸附近ニ於テ敵飛行機隊ヲ邀撃ス。

通一六一四三 於十四 (三九三七・五K) (一KFGB)

小野寺 (飯田)

三〇 〇〇五五八〇 請了〇六一〇 電一四〇三七 航本概〇